

OpenLDAP



オープンソースで安全・安心のLDAPサーバー製品
Linux・Windows・macOS・Unix の
ユーザー情報と認証の統合管理を実現

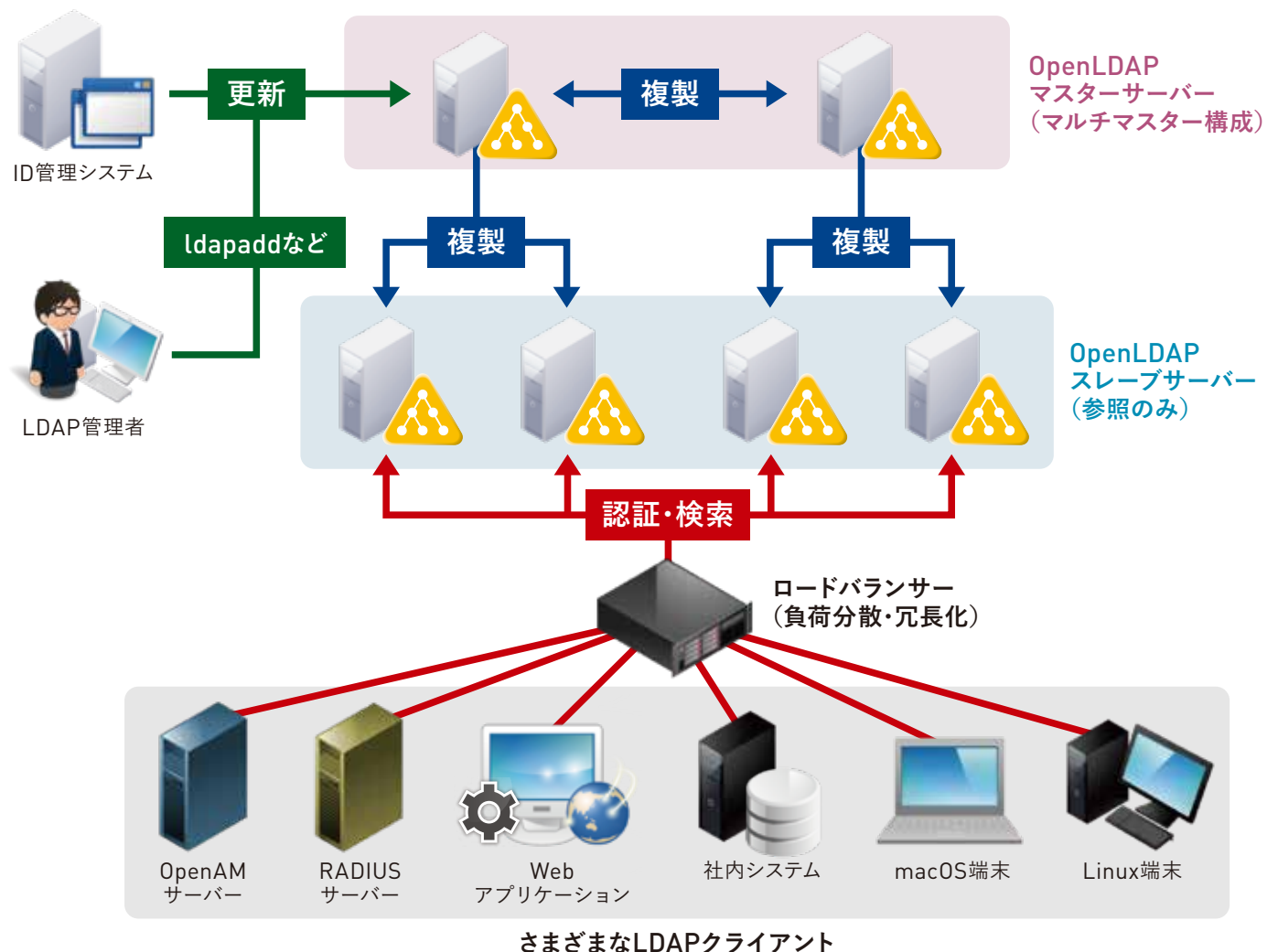
OpenLDAP とは?

- LDAPサーバーの中で、最も普及し、安定性に優れた20年の動作実績
- LDAPv3 に準拠し、各種LDAP対応製品との接続において、豊富な接続情報・接続実績を提供
- 費用はユーザー数に依存せず、大規模環境においても低コストで導入・運用が可能
- マスターサーバーを冗長構成(マルチマスター)とすることができ、高い可用性を提供
- スレーブサーバーを追加することで、認証・検索処理の負荷分散、スケールアウトが可能

基本機能

- LDAPv3に準拠したディレクトリサービスを提供
- TLSによる通信経路の暗号化
- IPアドレスやグループ属性によるアクセス権の管理
- パスワードポリシーによるユーザーパスワードの保護強化
- カスタムスキーマによる任意の属性の登録
- マルチマスター/マスタースレーブ複製機能による冗長構成、スケールアウト、負荷分散

システム構成例



OSSTech OpenLDAP の機能・特長

パスワードハッシュの強化

パスワードのハッシュアルゴリズムとして、SHA-2、PBKDF2を実装し、パスワード漏洩に対する保護を強化します。

パスワードポリシーの強化

OpenLDAPの ppolicyオーバーレイと連携してパスワードの複雑性の制約を設定可能です。

各種オーバーレイの同梱

OpenLDAPで利用可能な各種オーバーレイを設定のみで利用できる状態でパッケージ済みです。

同時接続数拡大

OSSTech OpenLDAPは同時接続を 16384まで対応。大規模システムでの運用に適しています。

Active Directoryとのパスワード双方向同期

OSSTech OpenLDAPの機能のみでWindows Active DirectoryとOpenLDAPのパスワード双方向同期が可能です。Windowsに追加モジュールの導入が不要です。

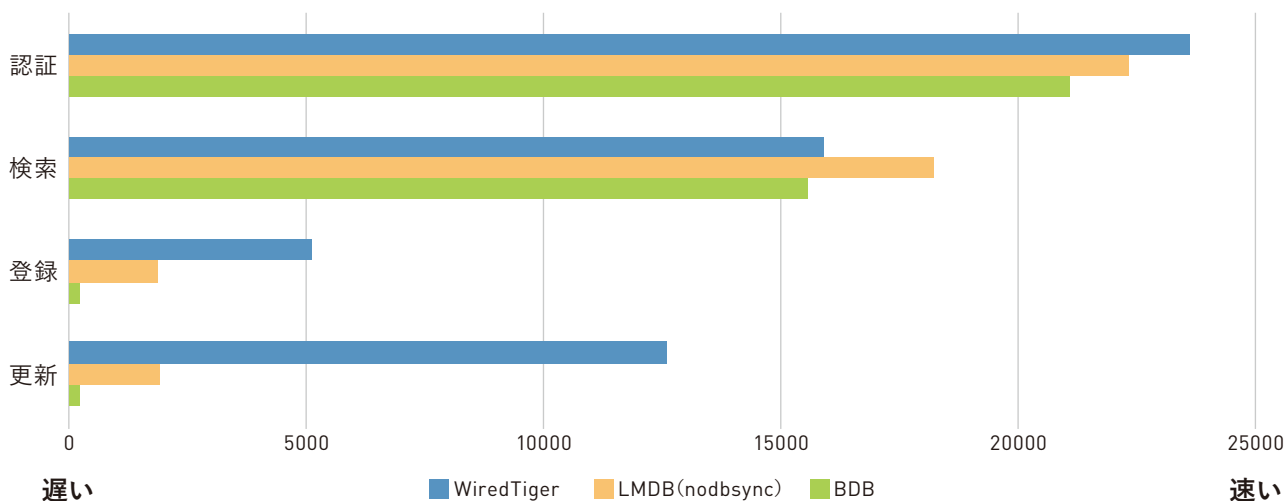
運用管理の強化

日次バックアップ機能とログローテート機能をパッケージに組込済みで、障害時のリカバリや操作ログの監査が実施できます。

OSSTech OpenLDAP WiredTiger バックエンド

最新のデータベース採用で更新性能の大幅向上を実現!!

OSSTech OpenLDAP バックエンドごとの性能測定結果 (処理件数/秒)



【測定環境】OS: CentOS 7 (x86-64) / OSSTech OpenLDAP 2.4.45 ・ KVM上の仮想OSとして実行 ・ CPU数: 24、メモリ 10GB

複数CPU、大容量メモリを前提としたWiredTiger DBの特長を発揮することで登録・更新処理の性能向上を実現

データの初期登録時やリカバリなどの一括登録処理の時間も大幅な削減
100万件以上の大規模環境でもチューニング不要で、運用上の制約を低減し運用管理を簡素化

OSSテクノロジーが開発を行いOpenLDAP 2.5の新機能として取り込み済みいち早くお客様環境で利用可能に

既存環境もパッケージのアップデート、LDAPデータのエクスポート・インポートでWiredTigerバックエンドに移行可能

OSSTech OpenLDAP 機能一覧

- LDAPv3 に準拠し、LDAPサービスを提供
- カスタムスキーマの定義により任意の属性の登録が可能
- エントリに対して、ユーザー、グループ、IPアドレスなどによるアクセス制限が可能
- LDAP接続時にシンプル認証・SASL認証による認証が可能
- LDAP通信をTLS (1.0以降のバージョン)により暗号化可能
- LDAPサービスの接続ユーザー、接続元IPアドレス、操作内容をsyslogに記録
- パスワード格納時の暗号化アルゴリズムとして、CRYPT、MD5、SHA-1、SHA-2、PBKDF2などに対応
- パスワードポリシーとして有効期限、パスワードの最小文字数、複雑性、アカウントロックなどの制約を設定可能
- データ格納先のバックエンドとして、WiredTiger、BDB、LMDBに対応
- WiredTigerバックエンドに1000万件のLDAPエントリの格納が可能
- 設定方式として、slapd.confによる設定ファイル方式と、configバックエンドによるLDAPデータベースの両方式に対応
- LDAPの登録データをUTF-8で保存し、言語タグ(RFC 3866にて規定)に対応
- 複数のLDAPツリー(DIT)を1つのLDAPサービス内で管理可能
- Active Directoryとのパスワード双方向同期が可能

OpenLDAPパッケージ同梱オーバーレイ

モジュール名	用途
syncprov	LDAP複製機能
ppolicy	パスワードポリシー
pw-sha2	SHA-2 形式パスワード
pw-pbkdf2	PBKDF2 形式パスワード
auditlog	変更履歴の記録
memberof	グループメンバーの自動更新
unique	属性値の一意制約
valsort	検索結果のソート機能
smbk5pwd	Sambaパスワードの自動同期
rwm	属性値などのリライト機能
lastbind	ログイン時刻の記録
psync	ADとのパスワード双方向同期

OSSTech OpenLDAP 製品

- 稼働ノードに対するノードライセンス体系
- 登録・利用ユーザー数無制限
- RPM形式で提供
- 導入・運用に役立つバックアップ設定などを初期設定済み

OpenLDAP 年間サポート

- OpenLDAP運用・障害に関する問い合わせ対応
- アップデートパッケージ提供
- 対応時間：平日 9時 - 17時
- システム単位の年間サポート契約
- 長期間サポートを提供

OpenLDAP 導入・移行 技術支援サービス

- LDAPサービス導入案件の営業支援
- OpenLDAP 設計支援・導入支援サービスの提供
- OpenLDAP サーバー構築作業
- OpenLDAP スキーマのカスタマイズ対応
- 旧システムのOpenLDAPからのデータ移行
- 各種商用LDAP製品からOpenLDAPへの移行支援

OpenLDAPの開発・導入に長年携わってきた
LDAPのスペシャリストによる支援をご活用ください！

ハードウェア要件

- Intel Xeon CPU 2core以上
- メモリ 4GB以上
- ディスク 20GB以上 (OS領域含む)

対応OS

- Red Hat Enterprise Linux 7 (x86-64)
- CentOS 7 (x86-64)

※ その他のOSについてはお問合せください。